

紀宝町高齢者地域見守り隊（紀宝町）



ゆるゆるみんなで助け合い！

困ったときはお互い様、小さくてゆるい活動だけど

町のみんなに味方がいるって知ってほしい

1 活動地域

私たちが活動する紀宝町は、三重県最南端にある町で海・山・川に恵まれた温暖な地域にあります。丘陵地にはみかん畑があり、浜にはウミガメが産卵にやってきます。世界遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」にも一部含まれており自然と歴史文化の豊かな町です。

人口は現在約1万500人で高齢化率は37パーセントを上回り県平均よりも高い数値になっております。

2 団体の概要

平成23、24年度に町が実施した「高齢者見守り隊養成講座」の講座修了者を隊員とする「紀宝町高齢者地域見守り隊」を発足し、現在20数名の隊員で特殊詐欺や消費者被害等への啓発を中心に活動しています。

また、日本に上陸するウミガメをモチーフに紀宝町高齢者地域見守り隊のマスコットキャラクターとして平成24年9月に誕生した「紀宝戦隊カメレンジャー」は、2年後、紀宝町の公式キャラクターに認定され、啓発活動のみならず紀宝町のPRに活躍しています。

3 活動内容

(1) 街頭啓発活動

偶数月の年金振込日において、町内のATM設置場所等で隊員が各地区に分散してチラシ配りによる啓発活動を行っています。また、奇数月の15日前後には町の中心地で紀宝警察署と合同で啓発活動も行っています。

(2) サロンや集会での啓発活動

地域からの要望に応じて「いきいきサロン」や「老人クラブの集会」に隊員数名で出向き、消費者被害を中心とした寸劇を披露しています。

(3) 消費者問題等研修会への参加

行政が実施している消費者問題等を取り上げた研修会に積極的に参加しています。

(4) イベント会場等での啓発活動

「紀宝みなとフェスティバル」、「社協つれもてまつり」などといった地域のイベントにブースを出し、チラシやPRグッズを配りながら消費者被害への注意喚起等を行っています。

4 活動頻度

(1) 街頭啓発活動は毎月中ごろに1回

(2) サロン等での寸劇披露は随時、寸劇の練習は月2回程度

(3) 研修会への参加は年2～3回

(4) イベント会場での啓発活動は年2回

5 課題

(1) 「高齢者」に対象を限定しない活動

(2) 消費者被害の変容に対応した活動

(3) 各機関との連携方法

6 課題の解決に向けた取組方策

(1) 会則の変更と研修内容の見直し

見守り活動の対象に子ども等も追加したいと考えていますので、会則の変更と子どもの見守りを追加することに関して、研修内容を見直さなければいけないと考えています。

(2) 他地域、団体への視察

子どもの見守りに関して、普段から子どもの見守り活動を実施している地域やボランティア団体の視察をすることでどういったことが活動に必要なのかを実際に見て学びたいと考えています。

(3) 学校、商店などへのアプローチを模索

地域の学校や、通学路にある商店などと一緒に活動することも子どもの見守りについて有効と考えるので、学校や商店等への活動の説明を含めて、協力依頼していきたいと考えています。